

## 1 社会資本の概要

八ヶ岳南麓に広がる北杜市長坂町には広大な里山林が広がっており、この里山林に国蝶オオムラサキが多く生息し、我が国最大級の生息地が保たれてきました。この里山林は、地域の先人たちが手を入れ大切に守り育ててきた林です。里山林のある里には、先人たちが積み上げてきた地域特有の技、知識、文化が存在し、多様な生物が棲み季節ごとの原風景を



施設内にて生態系観察の様子



オオムラサキ自然公園

醸し出しています。こうした先人たちが積み上げてきた豊かな営みを伝承し次世代へつなげていくために、オオムラサキ自然公園が整備され、中核施設オオムラサキセンターではオオムラサキを基本にした様々な環境学習を行い、7haの自然公園では棚田や里山林の中で、虫捕り体験や田植え体験など里山体験学習を行っており、県内外から3万人を超える人々が訪れています。

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

里山の昆虫の代表格であるオオムラサキの持つ特性を活かして、季節ごとの生態を観察できるようにしており、生息地内の観察路も整備して、自然を活用した集客を可能にしています。オオムラサキセンターを中心に、カブトムシの幼虫探し、溪流釣り体験、虫捕り体験、間伐材のピザ焼き体験など楽しみながら、里山を理解し里山ファンを増やしていくプログ

ラムを展開しています。情報発信もオオムラサキセンターのホームページ等で活発に行っております。また、周辺のおオムラサキ生息地である里山林の維持管路活動とオオムラサキセンターの事業が、相乗効果をもたらし、県内外からの集客の増加につながっています。



昆虫ふれあいコーナー



植樹風景

## 3 地域への成果や波及効果等

昭和55年から長坂中学、甲陵中学1年生（100人）が、毎年7月中旬に、オオムラサキ生息地内の有視界調査を行い、オオムラサキの動向を記録しています。昭和63年から始まった「名水と国蝶オオムラサキの里まつり」は、平成16年の合併後も名前を変えて継続しています（3万人参加）。



有視界調査の様子

## 4 前回受賞時からの活動の発展内容

平成20年より、荒廃した里山林の笹刈り、間伐、植樹、台場クヌギの保存活動を開始し、地元住民で組織するNPOの活動に新住民グループが加わり、地元大手企業の活動資金助成や社員の参加など安定した継続性のある活動に発展しています。



**●受賞者**  
特定非営利活動法人 自然とオオムラサキに親しむ会  
代表 跡部 治賢

**●コメント**  
この度、手づくり郷土賞の大賞をいただくことになり、驚きと喜びと一緒に飛び込んできました。日本一の国蝶オオムラサキの棲む郷土を、未来に繋げようと住民有志が自然とオオムラサキに親しむ会が発足させ、オオムラサキの餌となるエノキやクヌギの植樹活動を行っています。また、オオムラサキセンターでは、地域の資源を活用して、大勢の来館者に自然環境の大切さや楽しさを提供して、地域の中核施設になっています。今回の受賞は会員ばかりでなく地域住民にとっても大きな励みになり、オオムラサキを大切にしながら地域を元気にしていきます。

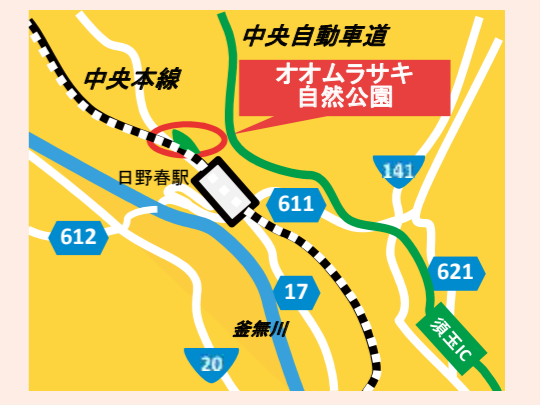
**●活動内容**  
・里山再生事業（下刈り、間伐、クヌギ等の植樹）  
・自然体験プログラム（虫取り体験、溪流釣り体験等） など

**●活動の経緯**  
平成7年10月 長坂町オオムラサキセンター開館  
平成8年 オオムラサキセンターを拠点に、自然とオオムラサキに親しむ会発足  
平成23年4月 自然とオオムラサキに親しむ会が指定(管理者として指定を受け、オオムラサキセンターを運営)

**所在地**  
山梨県北杜市長坂町富岡 2812

**活動主体及び連絡先**  
特定非営利活動法人  
自然とオオムラサキに親しむ会  
(0551-32-6648)

**対象となる社会資本**  
オオムラサキ自然公園  
※管理者：山梨県北杜市 (0551-42-1341)



手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集